

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表： 2021年 3 月 25日

事業所名 学校法人 福山医療学園附属施設 あさひ子ども園 そら

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			パテーションなどで区切り、学習、工作・自由活動とスペースを分けて使っている
	2	職員の配置数は適切であるか	○			一日平均指導員5名を確保しており、兼務職員もいるが配置数は適切である
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			医療専門学校の建物を使用しているので元々バリアフリーとなっている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		定期的に職員会議を開催し、意見交換を行っている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			実施している
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			公開している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		外部評価実施に向け、今後検討していく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			自主参加及び様々な研修会、学習会を利用している
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			日々の記録から、児童の変化をアセスメントし保護者と面談し、個別支援計画に反映している
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			広島県の発達障害特性シートを使用している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			年間行事、月間行事を立案し、職員ミーティングで確認している
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			職員がそれぞれの活動を分担し、ローテーションを行っている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇はいろいろなイベントを入れるなど変化をもたせている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		集団療育を中心に活動の計画を作成しているが、個別活動も行っているため、今後計画の中に盛り込んでいく予定
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			療育の前には時間を取って、その日の役割や内容についてミーティングを行っている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			職員全員が支援終了後記録を書く際に振り返りを行い情報交換を行っている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			児童一人一人の記録を取り全員で共有し、支援の改善につなげている
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6ヶ月ごとにモニタリングを行い、個別の支援計画の見直しを行っている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			個別支援計画に添った支援をガイドラインを意識して行っている

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		各会議にはそれぞれ最もふさわし者が参加している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		児童の連絡帳や電話、メール、対面などにより母親や学校との情報共有に努めている。学校のおたより、学校HPの閲覧を通じて情報収集をしていく
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		医療ケアの必要な児童については受け入れていない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		同事業所の児童発達支援より進級する児童(保護者)から情報共有している。就学前の様子については保護者からの聞きとりが多いので、気になる事があれば保育所等へ訪問や聞き取りを行っていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		事業所や保護者より依頼があれば情報提供を行っていく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		専門機関での療育を行っている児童については訪問や見学を行っている。今後も継続していく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		コロナ禍で参加が難しい状況である
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		福山市、放課後等デイサービス協議会等の研修会に参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		帰りのお迎えは保護者に来ていただいているので、その際に対面で話をしている
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		個別の面談等は積極的に行っているが、ペアレント・トレーニングまでにはいたっていない
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明を行っている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		年齢や特性に応じて、個別面談等を行っている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		年2回ほど行っていた保護者会がコロナ禍の為、開催出来ていない
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情担当者を中心に保護者の声を聞くようにしている 苦情があった場合、誠意を持って迅速に対応している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月1回スマイル通信を発刊している
	35	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報に係る同意書に署名・捺印をいただき、十分注意している
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		話すだけでなく文章にするなど工夫をしている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	コロナ禍の為、行事においては地域住民との交流はできていない

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		マニュアルは作成しているが、保護者への周知については今後の課題としている
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			施設としては、年2回行っている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年間職員研修の中に計画し、周知している
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		身体拘束の事例はない
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		保護者からの申し出をもとに対応している
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事業所内で研修をし、周知徹底している